

世界と日本のオーガニック食品を食べて、買って、知ろう！
ORGANICFESTAinTokyo2007

LOHAS-WORLD SPRING 2007

結果報告書

会期: 2007年4月13(金)～15日(日)
晴海アイランド トリトンスクエア

主 催
オーガニックフェスタ実行委員会
LOHAS-WORLD 事務局

概 要

イベント名称 同時開催	第4回オーガニックフェスタ in Tokyo 2007 第2回 LOHAS - WORLD 2007
期 間	4月13日(金) 11:00~19:00 (晴れ) 4月14日(土) 11:00~19:00 (晴れ) 4月15日(日) 11:00~17:00 (晴れ)
開催場所	晴海アイランド トリトンスクエア グランドロビー 東京都中央区晴海1丁目8番16号 都営地下鉄大江戸線「勝どき」駅下車4分 東京メトロ有楽町線、都営地下鉄大江戸線「月島」駅下車9分
入場料	無料
来場者数	27,000人
内 容	マルシェ広場：オーガニック食品の販売、試食・試飲、情報コーナー、ステージでの展開 LOHAS-WORLD2007：ロハス関連商品の販売、情報コーナー オーガニックフェスタパネルセッション： オーガニックなライフスタイル～本物を選べば、社会が変わる～ ロハスワールドパネルセッション： 人と地球思いやる心がLOHAS～みつめよう、私たちのライフスタイル～ その他、トークショー、音楽など13イベントをステージにて展開
主 催	オーガニックフェスタ実行委員会 TEL：03-6822-9067 FAX：03-5114-5088 LOHAS - WORLD TEL：03-5463-2182 FAX：03-5463-2182
オーガニックフェスタ実行委員会メンバー	
委員	宮腰 光寛 (衆議院議員・元農林水産副大臣)
委員	段本 幸男 (参議院議員・元財務省政務官)
委員	後藤田 正純 (衆議院議員・元内閣府大臣政務官)
委員	小山 裕久 (料理人)
委員	野々山 豊純 (アセット婦人画報社スペシャルエディトリアル アドバイザー)
委員	ピーター・ピーダーセン ((株)イースクエア代表取締役)
委員	元橋 直彦 (ホテルプレジデント青山総支配人)
委員	平井 進 ((株)日本レストランエンタプライズ常務取締役)
委員	田村 安 (EUOFA 代表理事)
事務局	NPO 法人ヨーロッパオーガニック協会 (EUOFA) / LOHAS - WORLD 事務局
後援	農林水産省 環境省 厚生労働省 文部科学省 食品安全委員会 東京都 東京都中央区 オランダ大使館 オーストリア大使館商務部 フランス大使館経済部 全国農業共同組合中央会 都市農山漁村交流活性化機構 社団法人 日本セルフ・サービス協会 株式会社アセット婦人画報社 株式会社ソニーマガジンズ
協 力	株式会社 晴海コーポレーション 晴海トリトン (住商アーバン開発 株式会社) 住友商事 株式会社 東京都中央区教育委員会 永沢まこと(画家) 小山裕久事務所 株式会社おもちゃ箱 株式会社インターフォーラムアソシエイツ クリナップ株式会社 ダンディンドン有限公司 マヴィ株式会社 アリサンオーガニックセンター ファームランドトレーディング株式会社 日仏貿易株式会社 ロハスライフ事務局 自然のわ研究会 鳥取県東伯青年会議所 ボランティアスタッフの皆さま

開催の内容と分析

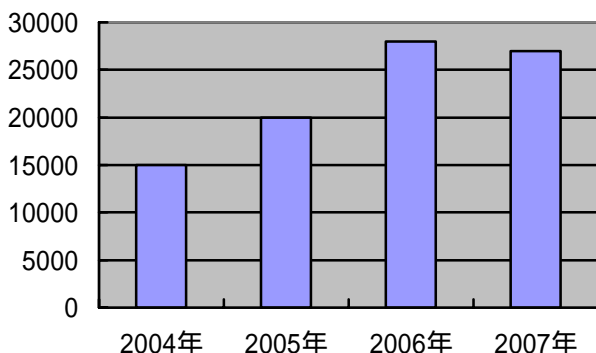
概況

今年で早くも第4回を迎えたオーガニックフェスタ in 東京は、昨年に引き続きロハスワールドとの同時開催で幕を開けた。昨年同様、グランドロビーのみを会場とし、オーガニックマルシェゾーン、ロハスワールドゾーン、特設ステージ、展示コーナー、そして今回は子どもゾーンと大きく5つに分けて展開した。特に子どもひろばは全国から集まった「僕の私の好きな食べ物の絵」がこれまでで最大数集まったこと、毎年好評のダンボールひろばを例年の倍の大きさに拡大したこともあり、多くの子ども連れでにぎわった。

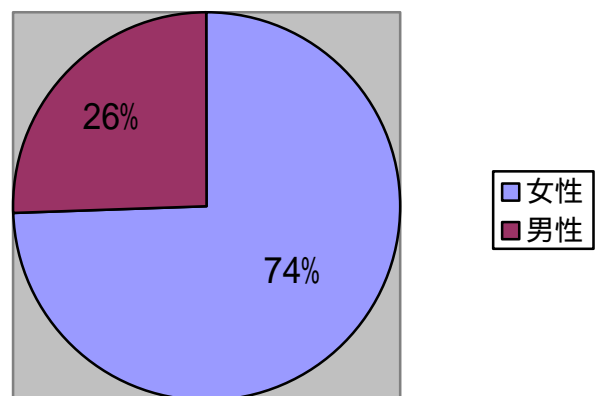
来場者のプロフィールは、例年ほぼ同じような傾向を見せている。来場者数は昨年と比べて横ばい状態。土曜日の客足が昨年と比べて若干減っていたようだ。同じ日に新宿で「トゥルーフードフェア」が開催されていたが、両フェアのターゲット層が似ていることは容易に推測され、この来場者減の1つの要因として考えられる。

今年も女性が来場者のほぼ4分の3を占めた。またその中でも圧倒的多数なのが30代で、全体の半数近い44%を占めている。ついで20代と40代がいずれも20%前後。つまり実に来場者の80%以上が20代～40代で構成されているということだ。また、来場者の72%が「大変良かった」「良かった」と回答しており、来場者にとっても概ね満足のいく展示会になったことが伺える。

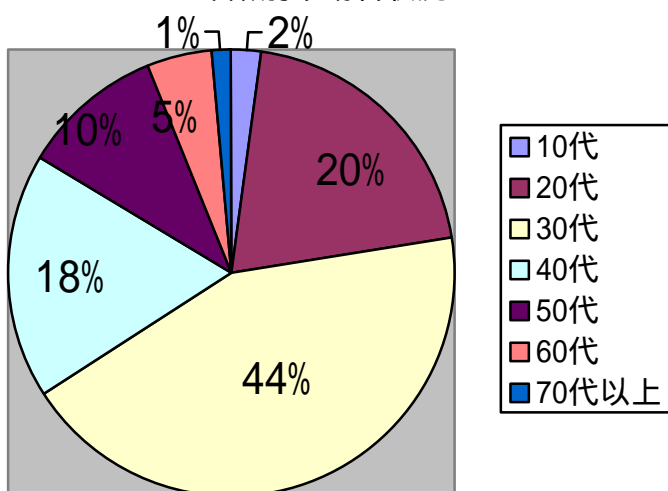
来場者推移



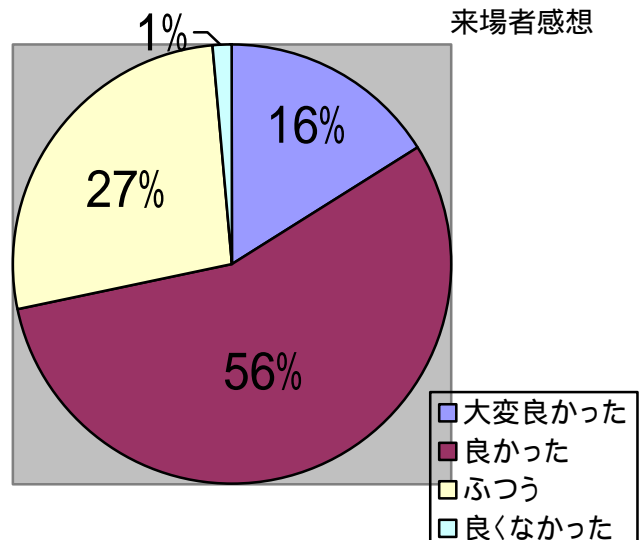
男女別来場者状況



年齢別来場者状況



来場者感想



1. マルシェ広場

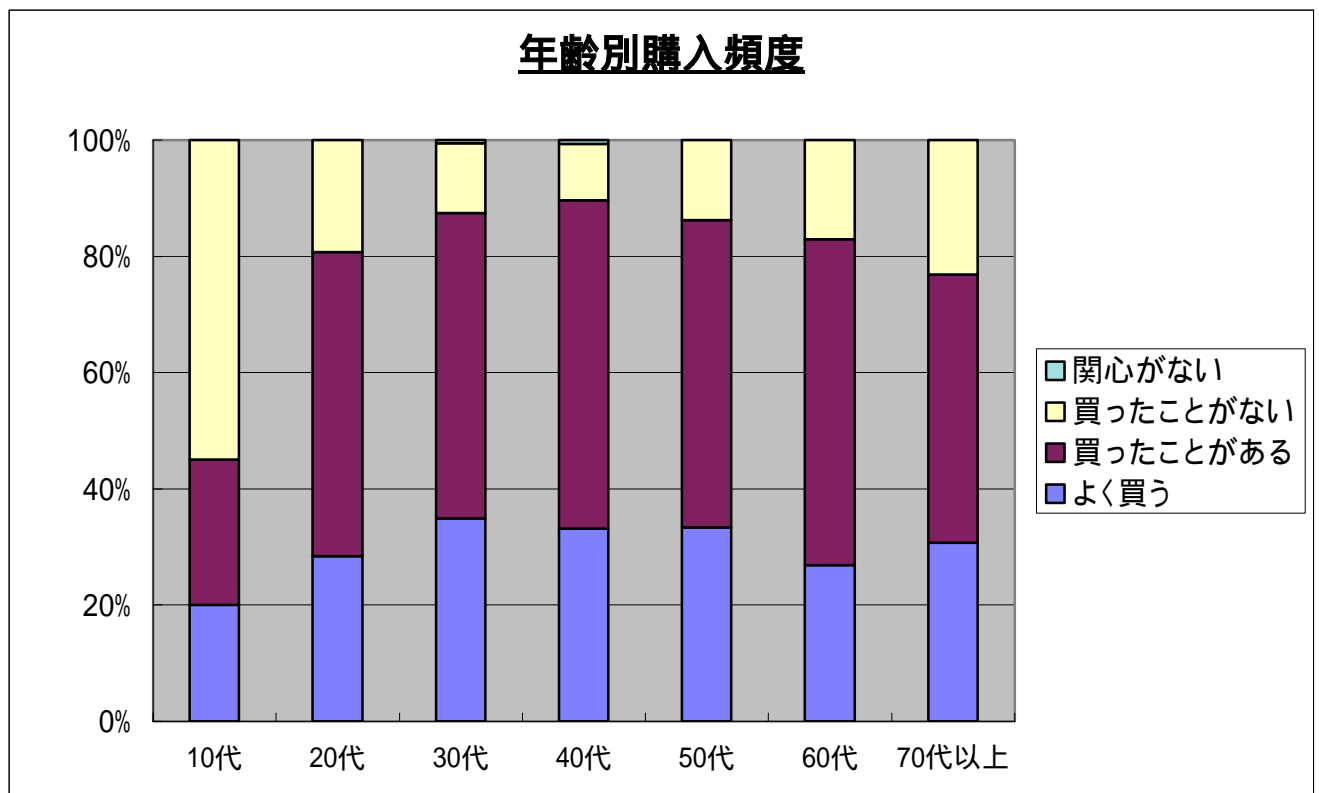
a) マルシェコーナー <オーガニックフェスタゾーン>

食品関係出展者 29、非食品関係出展社 5、計 34 出展者により開催。事務局が委託で受けた出展者 4 社を加えると 38 社の製品が出揃った。さらに事務局では、11 出版社から 100 種類の本を集めた書籍コーナー、毎年人気のオーガニック原料で作るポップコーンと綿あめの屋台も運営。

出展者は、これで 4 年連続の出展になる企業、今年が初めての企業と新旧入り混じり、野菜、菓子類、コーヒー、紅茶、スパイス、酒類（ワイン、ビール、日本酒、焼酎、ウォッカ）、オリーブオイル、パスタ、ハーブ、茶と今年もバラエティにとんだ出展となった。今年の最大の特徴は、フランス・ドイツから総勢 9 名の出展者があったこと。マルシェに華を添えていた。

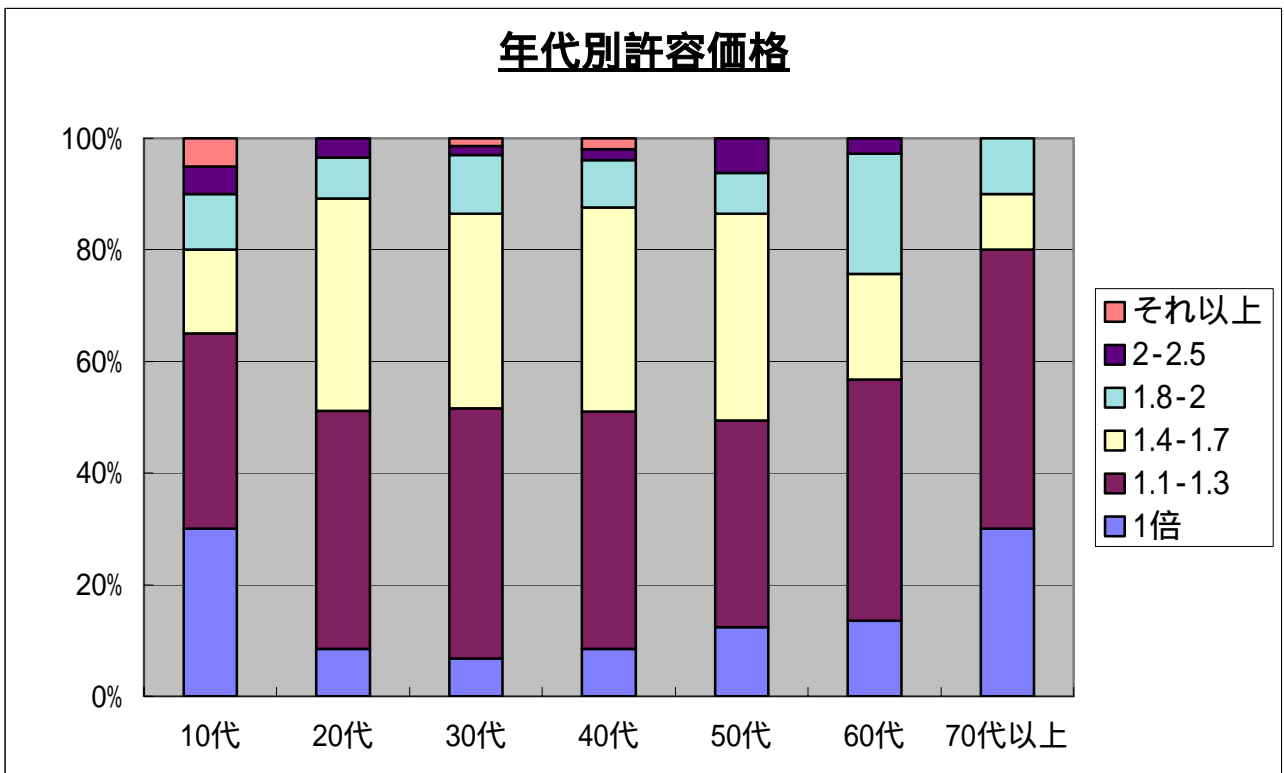
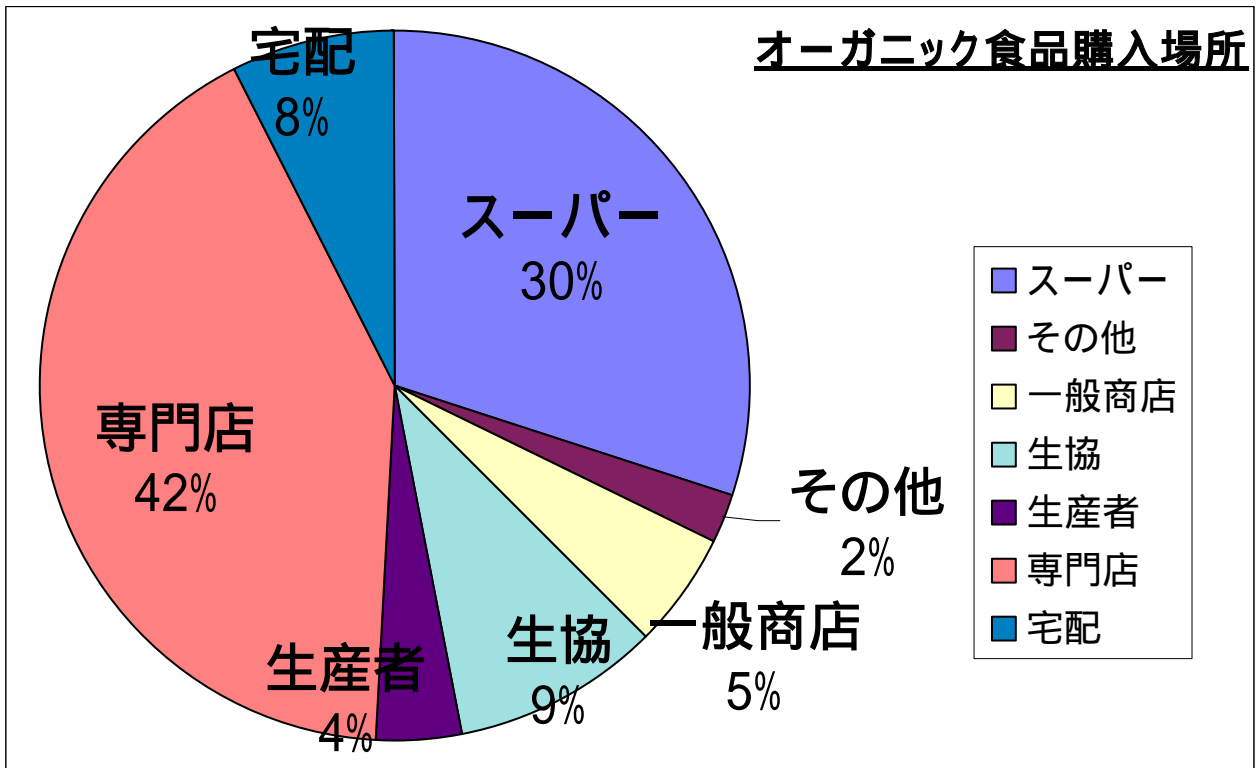


出展者からのアンケートでは、開始前から「一年間待ってました」という嬉しい声を携えて待っていてくれた来場者もあったという。また「売上がアップした、過去最高だった」という声もかなり多く、オーガニックファンのリピーターが多数来場するイベントになったと言えるだろう。実際来場者アンケートでも、来場者の 8 割近くがオーガニック食品を「良く買う」もしくは「買ったことがある」と回答している。



通常、オーガニック食品を購入している人たちは、どこで入手しているのだろう。来場者アンケートでは、専門店とスーパーに大きく分かれた。それ以外では生協や宅配などと続き、生産者から直接購入するという回答は少なかった。これは、オーガニック農家の数が少ないということ、また生産者が直接流通することが少ないという日本の農業の現実をよく表していると言えるのではないだろうか。

気になる価格はというと、「一般食品の1.1～1.7倍であれば購入する」と答えた消費者が大部分だった。やはり2倍近い価格になると手が出ないというのが一般的な意見と言えるだろう。

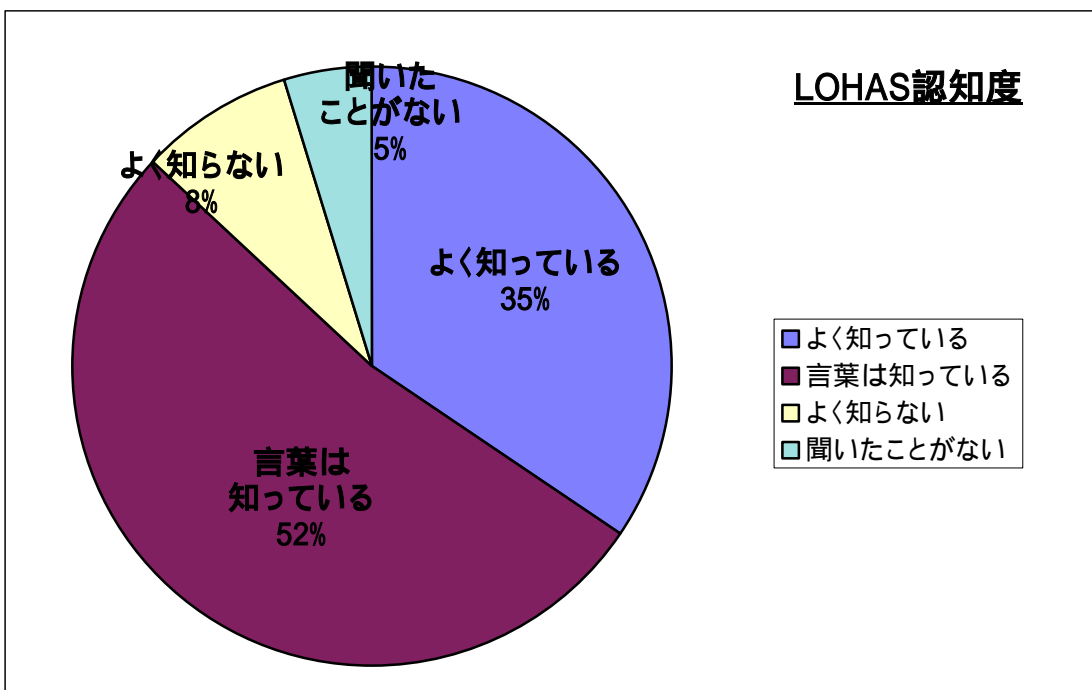


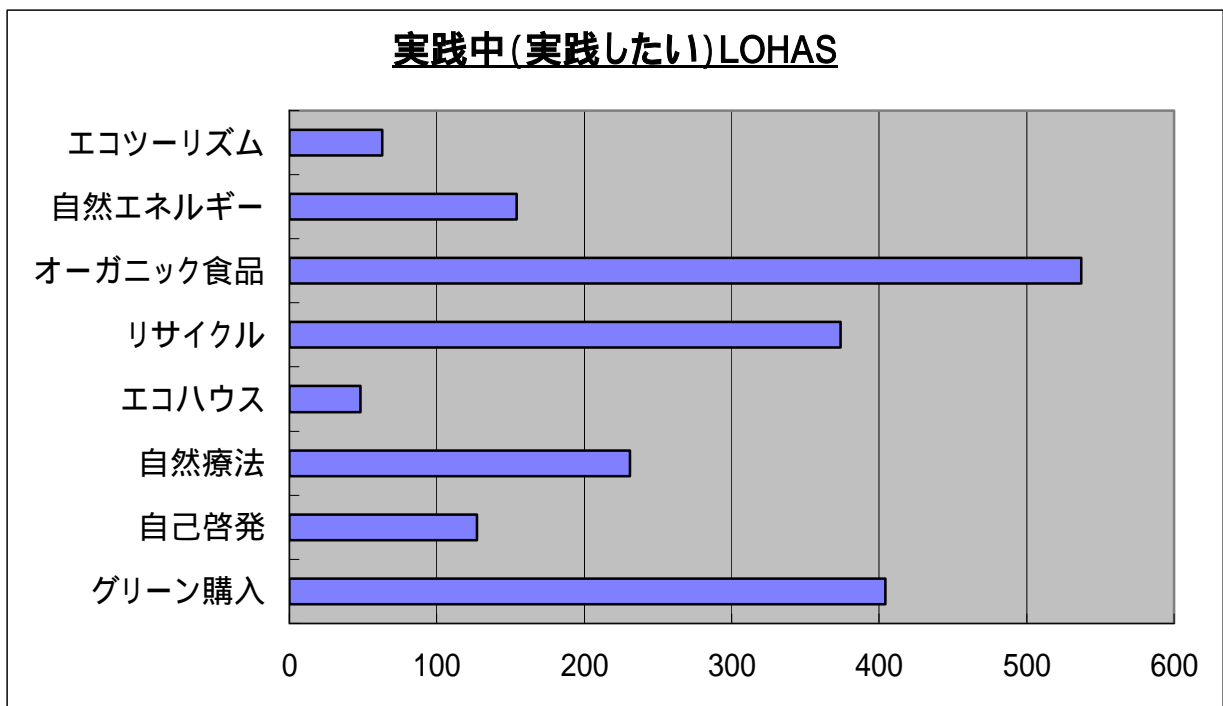
<ロハスゾーン>

出展者数は 10 社。化粧品、家具、オーガニックコットン衣料、沖縄の産品、水、浄水器、マクロビオティック、熱帯雨林を保護するコーヒーなど、「健康で持続可能なライフスタイル」というコンセプトに合致した製品が今年も多数出品された。

昨年同様、食品だけにとどまらない持続可能なライフスタイルを提案する商品が集まったことで、オーガニックフェスタを求めてくる来場者にとっても、またロハスワールドを目指してやってくる来場者にとっても、ともに新しい発見の場となっている。共同開催は成功していると言える。

今年も昨年に引き続き、来場者に LOHAS という言葉の認知度合いとどういふことを実践しているか(あるいは実践したいか)を尋ねた。下記のグラフの通り、言葉については 90% 近くが認知しているという結果が出た。





また実践したい内容として、オーガニックフェスタというイベントへの来場者ということから、1位は当然ながらオーガニック食品、次いでグリーン購入とリサイクルが人気。また自然療法にも関心が集まっている。

b) 展示コーナー

主催者展示として、「オーガニックなライフスタイル～本物を選べば社会が変わる～」と題したテーマ展示のほか、LOHAS-WORLDではロハスを紹介するパネル展示、23都道府県から集まったグリーンツーリズム・エコツーリズムに関するパンフレットの設置、厚生労働省・農林水産省共同制作の食事バランスガイドの配布、全国の子どもたちから公募し、631点が集まった「ぼくの私の好きな食べ物の絵」の展示を行った。



今年新たな試みとして注目されたのが、エコツーリズムのDVD上映で、内外の生産地を訪れた旅のDVDを流したところ、評判は上々。今後もこうした映像のコーナーは設けていく予定だ。

c) ステージ

ステージも3日間、2大パネルセッション、6つのトークイベントと6つの音楽イベント、「ぼくの私の好きな食べ物の絵」表彰式と数々のイベントがステージにて繰り広げられた。

オーガニックフェスタパネルセッションは、「オーガニックなライフスタイル～本物を選べば、社会が変わる～」と題し、メディア、生産者、政策それぞれの立場から見たオーガニックをパネリストにお話いただき、最後にはこれからのオーガニックということで、日本のオーガニックの今後を占っていただいた。パネリストには、



出版社のスペシャルエディトリアルアドバイザー

ー、海外からの生産者、有機農業推進法の立役者とも言える二人の議員、オーガニックコンシェルジュと多彩な顔ぶれにお集まりいただいた。

ロハスワールドパネルセッションは、「人と地球、思いやる心がLOHAS~みつめよう、私たちのライフスタイル~」というテーマで3人の方から、LOHASのもつ本当の価値、心と体についてのお話をいただいた。パネリストには、ロハスプロデューサー、医師、僧侶とまったく異なる業界から、ライフスタイルをもう一度見つめなおすという共通のテーマのお話が展開された。

それ以外にも、注目のリビングフード、マクロビオティック、食育、アグロバイオ企業、海外のオーガニック事情など、食やオーガニックに関心の深い来場者の関心をひく数々のトークショーを実施。

また子どもたちの演奏、心に染み入る歌や音楽は来場者や出展者を大いに和ませていた。

d) 子どもエリア

今年はいよいよダンボールでできた「こどもひろば」の拡大に成功。全国から集まった子どもたちの絵の展示のそばに広場を設け、子どもエリアとした。

毎年ご協力いただいているダン・ディン・ドン有限会社様の計らいにより、ダンボールひろば内のダンボール遊具は最終日にプレゼント。広場の面積が倍増したことがすぐにはわからないほど、連日多くの子もたちでにぎわっていた。



こどもひろば
協力：ダン・ディン・ドン(有)

場所は子どもエリアから離れ、事務局コーナーの1つとして位置づけられているが、今年も人気だったオーガニック綿あめとポップコーンコーナー。良質の材料でできたシンプルなお菓子に舌鼓を打つのは子どもたちだけに限らず、来場者はもとより、出展者やボランティアスタッフからも大人気のコーナーだった。



大人気のオーガニック綿あめ・ポップコーンコーナー
協力：アリサン・オーガニック・センター、ファームランドトレーディング㈱、日仏貿易㈱

マルシェ <グランドロビー> : オーガニックフェスタ出展者

No	企業名	小間NO	内容
1	株式会社がいあプロジェクト	F - 01	古本
2	株式会社アイ・ジー・エムトレーディング	F - 02	有機栽培冷凍野菜
3	ヴィエント貿易株式会社	F - 03	ワイン、オリーブオイル
4	福祉工場エバグリーン	F - 04a	食器用石鹸
5	すこやか作業所	F - 04b	竹炭入りシューズキーパーなど
6	三鷹ひまわり第三共同作業所	F - 04c	手づくりお菓子、陶芸の販売、似顔絵
7	株式会社おもちゃ箱	F - 05	ジュース、ピクルス、ハーブティ、化粧品など
8	オーガニックポータルサイトアルカモール(株)シーアイシー	F - 06	オーガニックポータルサイトへの出店案内(情報ブース)
9	ジョアンインターナショナル	F - 07a	イタリア産オーガニックエクストラバージンオリーブオイル
10	シフォンケーキ専門店[シュワリ]	F - 08a	シフォンケーキ
11	Agro All Round Co. Ltd.	F - 08b	紅茶、ウコン、パパイヤほか
12	有限会社オーガニックフォレスト	F - 08b	オーガニックチョコレート、パスタ、オリーブオイル
13	株式会社ヴォークス・トレーディング	F - 09	オーガニック スパイス、ハーブ、ドライフルーツ、紅茶の販売
14	マヴィ株式会社	F - 10	ワイン
15	JAPEXBIO	F - 11a	ワイン
16	Domaine CABANIS	F - 11b	ワイン
17	Domaine Pinchinat	F - 12a	ワイン
18	Domaine Moulin a Vent	F - 12b	ワイン
19	株式会社ヤッホー・ブルーイング	F - 13	オーガニックビール
20	Roland SEGUIN	F - 14a	ワイン
21	Chateau de l'OU	F - 14b	ワイン
22	Domaine du Mortier	F - 15a	ワイン
23	Chateau Vent d'Autan	F - 15b	ワイン
24	EcoService Muster-Bloy	F - 16	ワイン
25	Hawaii Sea Spirits LLC	F - 17	ハワイ産オーガニックウォッカ
26	Very Berry	F - 18	オーガニックジェラート、焼菓子
27	株式会社ラティアクリエイツ	F - 19	レヴィアルアルガンオイル
28	株式会社自然農法販売協同機構	F - 20	JAS 有機農産物とその加工品
29	有限会社ハーブマルシェ	F - 21	ハーブティー販売
30	日仏貿易株式会社	F - 22	オーガニックパスタ、トマトソース、オイル、ピネガー、はちみつ、ジャム、チョコレート、コーヒー、ビスコットなど(イタリア産・フランス産)
31	自然のわ研究会(善光園・北川園)	F - 23	有機茶、お茶クッキー
32	農業生産法人(有)香遊生活	F - 24	オーガニックハーブティー、ハーブキャンディー、ハーブクッキー
33	コンパニアオルガニカ	F - 25	オーガニックコーヒー
34	AIU 保険会社インシュランスコンサルタントオフィス	F - 26	
35	合名会社 豊永酒造	委託	本格焼酎 豊永蔵
36	プテュマヨ ワールドミュージック	委託	音楽 CD(バッテリー付の試聴機つき)
37	丸本酒造株式会社	委託	日本酒
38	ゲファーレナーエンゲル	委託	オリジナルエコバッグ

マルシェ <グランドロビー> : LOHAS-WORLD 出展者

No	企業名	小間NO	内容
1	株式会社キャピアール	L - 01	ニュージーランド産マヌカはちみつ及び関連食品(チョコ、キャラメル、キャンディー等)
2	創生ワールド株式会社	L - 02	創生水生成器、創生水を活用して洗剤類を使わない環境づくりを実現すると同時に身体に活力を与える水を生成する器械。水を汚さない事と良い水を手に入れることを考えた水環境におけるロハスな商品
3	株式会社シンドフジ	L - 03	マクロビダイエット食品の紹介他
4	メルインターナショナル株式会社	L - 04	産地限定特許抽出したクマザサ樹液を原料とした化粧品及びその他の薬品を使用していない基礎化粧品の販売。
5	株式会社アクアライフ	L - 05	水処理、癒し工房セントラル浄水器
6	株式会社フロレスタス・ジャパン	L - 06	ナチュラルコスメ(シャンプー、コンディショナー、シャワージェル、ボディ、フェイスケア製品、アロマ製品)IKOVE(イコヴェ)アマゾンに伝わる自然療法や野生採集される熱帯植物たちの力強い生命力を取り入れたビューティーラインです。収穫されるアマゾン植物はFSCの認証を受け又持続可能な経済社会と熱帯森林の保全を支援しています。
7	UCC 上島珈琲株式会社	L - 07	レギュラー珈琲レインフォレストアライアンス。ニューヨークに本部を置くNGO団体レインフォレストアライアンス認証コーヒー
8	LOHASプロデュース NOAH	L - 08	ロハスワールド沖縄支部の紹介、ギンネムの種 = 土壌改良、貝殻セット、沖縄の島野菜の種、さんぐわぁ = ススキの葉で作る魔よけ・お守り(沖縄では昔から使われています)、旧暦のカレンダー、ヒーリングアート、県産オーガニック野菜(島らっきょう・紅芋の焼き芋・にがうり・島とうがらし)、県産オーガニック果物(パッションフルーツ・パイナップル・パパイヤ)県産薬草茶(数種類)、沖縄のお菓子(昔からある伝統的なものでlohasなもの数点)、ムーチャー(沖縄の月桃の葉に包んだ行事につかう葉に包んで蒸したお餅など)
9	株式会社エフエルエス	L - 09	婦人服、衣料品、衣料雑貨、カットソー、パンツ、タオルなど
10	株式会社タヌマ	L - 10	家具、インテリア 赤ちゃんに優しいベビーベッド



ステージ<グランドロビー>

< 出演者一覧 >



実施日時	出演者名	演目	形式
4月13日(金)			
12:00-13:00	中 美恵	食べるエステ～マクロビオティックでキレイになる方法～	セミナー
13:30-14:00	中村 美保子	オーガニックなリビングフード生活 ～酵素の多い食事～	セミナー
15:00-16:00	オフィス食スポーツ こばたてるみ	選んで食べよう！～お母さんと子供たちのための食育セミナー～	セミナー
17:30-18:30	田村安、谷口 しのぶ	オーガニックの楽しみ方 ～ワインとハーブ～	トークセッション
4月14日(土)			
11:00-11:30 15:30-16:00	植木ゆり リズム隊& Ryo	リトルアーティスト ～みんなの手作りお届けします～	ライブ
12:00-15:00	次ページに詳細	オーガニックフェスタパネルセッション 「オーガニックなライフスタイル」 ～本物を選べば、社会が変わる～	パネルセッション
16:30-17:30	安田 節子	アグロバイオ企業の種子支配	セミナー
17:45-18:15	OUTDRIVE	アコースティックライブ	ライブ
18:30-19:00	イデトシカズ sae & yu	ロハスソングライブ	ライブ
4月15日(日)			
11:00-11:20	審査員、受賞者	表彰式 「僕の私の好きな食べ物の絵」	表彰式
11:30-12:00	奈月	沖縄ロハスソングライブ	ライブ
12:00-14:45	次々ページに詳細	ロハスワールドパネルセッション 「人と地球、思いやる心が LOHAS」 ～みつめよう、私たちのライフスタイル～	パネルセッション
15:00-16:00	ジェラルド・ボアソ ＝デシュアール 通訳：内山明子	教えてフランスワイン事情 ～ますます広がるオーガニック～	セミナー
16:00-16:30	イデトシカズ sae & yu	ロハスソングライブ	ライブ
16:30-17:00	田村 安 / 秋元 一宏	主催者トークショー フィナーレ LOHAS とオーガニック ～ 持続可能なライフスタイル～	トークショー

オーガニックフェスタパネルセッション

「オーガニックなライフスタイル～本物を選べば、社会が変わる～」

< 実施内容 >



Time	講演内容	講演者
12:00	セッション1 「メディアから見たオーガニック」	野々山 豊純氏 (アセット婦人画報社スペシャルエディトリアルアドバイザー) 田村 安氏 (オーガニックフェスタ実行委員会代表) <コーディネーター> 依田則子(講談社ビジネス出版部)
12:35	セッション2 「生産者から見たオーガニック」	ジャン＝ポール・カバニス (ラングドックオーガニックワイン協会) <通訳>長谷川 浩代 (NPO法人ヨーロッパオーガニック協会)
13:15	セッション3 「政策から見たオーガニック」	段本 幸男氏 (参議院議員・有機農業推進議員連盟事務局次長) ツルネン・マルテイ氏 (参議院議員・有機農業推進議員連盟事務局長) いでみゆき氏 (ロハスライフ事務局) <コーディネーター> 有吉ゆう子(フリージャーナリスト)
14:00	セッション4 「これからのオーガニック」	岡村 貴子氏(オーガニックコンシェルジュ) 田村 安氏 (オーガニックフェスタ実行委員会代表)

ロハスワールドパネルセッション

「人と地球、思いやる心がLOHAS～みつめよう、私たちのライフスタイル」

< 実施内容 >

Time	講演内容	講演者
12:00	セッション1 「ロハスの本当の価値観」	イデトシカズ (ロハスプロデューサー)
12:45	セッション2 「女性のロハス的生き方 ～組成の身体は35歳過ぎたら下り坂?～」	松峯 寿美 (東峯婦人クリニック院長)
13:45	セッション3 「思いやる心と命 ～自分を知ることが生き方を変える～」	川村 妙慶 (真宗大谷派僧侶 京都・正念寺坊守) <コーディネーター> 依田 則子(講談社ビジネス出版部)

来場促進（メディア関係）

< 販促物 >

ポスター：A 2フルカラー、5000枚 晴海トリトン、各出展者、東京都の飲食店等で掲示

フライヤー：A 4フルカラー（裏面白黒）20000枚 晴海トリトン、各出展者、ステージ出演者、関係者、都内飲食店、料理教室ほかで配布

< パブリシティ >

内容	媒体名	発売日・放送日	号・種別	部数	
フェスタ全般	グルメキャリー	12月21日	Vol.90	7万部	
	LOHASnet 横丁	1月26日～	WEB		
	春びあ首都圏	3月1日	ムック	15万部	
	東京美食探訪	3月	季刊		
	いただきます ごちそうさま	3月1日	季刊	5000部	
	日経 Waga Maga	3月1日～	WEB		
	住宅情報マンションズ	3月6日		13万部	
	中央らいふ	3月15日			
	日本農業新聞	3月24日	新聞	40万部	
	日本食糧新聞	3月26日	新聞		
	読売新聞 都内版夕刊	3月30日	新聞		
	トリトンスクエア折込みチラシ	3月30日	チラシ	12万部	
	晴海トリトンスクエア催事ポスター	4月1日	ポスター		
	HAIR MODE	4月1日	2007.4月号		
	DAILY YOMIURI	4月3日	新聞		
	The Japan Times	4月3日	新聞		
	グルメキャリー	4月5日		7万部	
	食育健美	4月6日～	WEB		
	マイライフ手帳@ニュース	4月6日～	WEB		
	東京ウォーカー	4月10日	雑誌	30万部	
	L25	4月12日	雑誌	40万部	
	トリトンプレス	4月12日			
	ぴあスーパーチャンネル	4月12日	モバイル		
	あつまるくんの週刊求人案内	4月12日	雑誌	10万部	
	シティリビング	4月12日	新聞	18万部	
	朝日新聞 夕刊 Be evening	4月12日	新聞	230万部	
	東京 MX テレビ	4月13日	テレビ		
	日本農業新聞	4月14日	新聞	40万部	
	J-WAVE ロハスサンデー（イベント情報）	4月15日	ラジオ		
	日刊アグリ・リサーチ（イベントリポート）	4月17日	業界紙		
	米穀新聞（イベントリポート）	4月19日	業界紙		
	日刊協同組合通信（イベントリポート）	4月27日	業界紙		
	月刊セレクト（イベントリポート）	6月10日	雑誌	2万部	
	ほか				
	「ぼくのわたしの好きな食べ物」の絵」公募	月刊公募ガイド	1月9日	2月号	
		朝日新聞 夕刊マリオン	1月24日	夕刊	230万部
		読売新聞 夕刊シティライフ	1月30日	夕刊	
		日本農業新聞	2月2日	新聞	40万部

当方に知らせがなかった関係で、ここに掲載していないものもある可能性は大。

当日取材（新聞、雑誌社等計 20 社程度）